

茨木市文化振興財団ダンスプロジェクト

コミュニティダンス体験ワークショップ

2015. **3.22**【日】 ① 13:00~15:00 家族コース
② 15:30~17:30 一般コース
茨木市市民総合センター クリエイトセンター・2F 多目的ホール

◆家族コース

「我が家のダンスを作ってみよう。
それを交換してみよう。」

◎ナビゲーター：伴戸千雅子（ばんど・ちかこ）

家族には顔がある。においがある。なんとなく家族を包む空気みたいなものがある。そんな空気感をたよりに、ダンスを作ってみましょう。例えば、家族の顔となる家紋ダンス、おばあちゃんのフラダンスや、子どもが夢中になっている恐竜やら、家族の誰かの得意なことをテーマにしたり。すごく抽象的に「雰囲気」をイメージして動きにしてみたり。ナビゲーターと共に考えていきます。そうして作った我が家ダンスで他の家族と対決？交流？見知らぬ国同士の人が自分の国を紹介するみたいに、他の家族に広めたり、交換してみたり。そして、その日集まったみんなで大きな家族のダンスを作れたらいいと思います。

◆日時

3月22日（日） 13:00~15:00（開場は30分前）

◆募集対象・定員

10家族（30人程度）。夫婦、親子、兄弟姉妹など家族単位でお申し込みください。年齢、性別、ダンス経験は問いません。

◆受講料

1,000円／1家族

◆一般コース

「言葉からダンスを生み出そう。」

◎ナビゲーター：砂連尾 理（じゃれお・おさむ）

朝の挨拶を交わす時や初めての人と会う時、人は言葉だけでなく必ず身振りを伴ってコミュニケーションを取っています。さて、今回のワークショップでは、そんな日常のコミュニケーションで使っている言葉を使わずに身振りだけ、身体だけを使って対話を試みます。最初は「よっ！」や「おお!!」等、普段行っている簡単な動作をアレンジしてみます。続いて「こんにちは！」や「ご機嫌いかが？」など。更に動き慣れていくと、長い文章にもトライします。そうして普段メールや手紙など、言葉でやり取りをしていることを身体でやってみると、そこには摩訶不思議な動きが!?そんなダンスと一緒に生み出しましょう!

◆日時

3月22日（日） 15:30~17:30（開場は30分前）

◆募集対象・定員

小学生以上の方30人程度。ダンス経験は問いません。

◆受講料

500円／1人

※いずれも動きやすい服装でご参加ください。また、上履き、水分補給のための飲み物をご持参ください。

★12月6日（土）9:00 電話予約開始／定員に満たない場合は翌日から窓口受付開始／チケットをお求めください（当日のご精算もお受けします）

★お申込み・お問合せ：（公財）茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055（茨木市市民会館ユーアイホール1階 9:00~17:00）

12月6日（土）は電話予約のみ。チケットのお引き取り、窓口販売は翌日から下記のチケットカウンターで。

●ユーアイホールチケットカウンター9:00~17:00 ●クリエイトセンターチケットカウンター9:00~17:00

コミュニティダンスとは、子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず、一般の人々がダンスアーティストとともに地域や教育現場などで行う創造的な表現活動の総称です。茨木市文化振興財団では、「体を動かす楽しさ」「表現する楽しさ」「交流する楽しさ」をあらゆる世代の方に体感していただくことを願いこのダンスプロジェクトに取り組みます。今回は、〈家族コース〉と〈一般コース〉の二つの体験ワークショップを開催します。いずれも、入門編となっていますので、踊ったことがない方もお気軽にご参加ください。と一緒に良い時間を過ごしましょう!

◆主催:公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆後援:茨木商工会議所/茨木市観光協会

ナビゲーター★プロフィール

★伴戸千雅子(ばんど・ちかこ)

振付家・ダンサー



©草本利枝

演劇、バリ舞踊、舞踏を学び、1989-2011年ダンスグループ「花嵐」で活動。近年は、ミュージシャンやパフォーマーと即興セッションや、「竜の淵」「クモノイト」など物語を題材にした作品をつくる。

2004年から視覚障害など、さまざまな障害をもった人、子どもや母親を対象にした身体ほぐしや、「なんちゃってアフリカン」「からだうろう会」「細胞になっているのちの誕生の仕組みをなぞる」など、ちょっとユニークな切り口のダンスワークショップを企画、講師をつとめる。京都看護専門学校「ボディワーク」講師。カラダをほぐすと、ココロも軽やかになる。自分のカラダを再認識したり、カラダを通して人と出会ったり。カラダをテーマに新しい発見が生まれる場づくりに取り組んでいきたい。

<http://chikakobando.jimdo.com/>



★砂連尾 理(じゃれお・おさむ)

振付家・ダンサー

1991年寺田みさことダンスユニットを結成。1993年～1994年、ニューヨークにダンス留学。ホセ・リモンテクニックをAlan Danielsonに師事。

2002年、「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞(グランプリ)」「オーディエンス賞」をW受賞。

これまでに海外10ヶ国12都市で公演を行う。

2004年、京都市芸術文化特別奨励者。2008年、文化庁・新進芸術家海外留学制度の研修員として、一年間ベルリンに滞在。

また、2006年より合気道を始め、現在二段位。

近年はソロ活動を中心に、障がい者、高齢者、映像作家、臨床哲学者、ロボット工学者等と協働し、ジャンルを横断する新たな活動を展開している。

立命館大学、神戸女学院大学、天理医療大学非常勤講師。

【茨木市文化振興財団ダンスプロジェクト提携公演】

ワークショップ「みんなのためのからだ学」から生まれた、からだ、音、声で紡ぐ小さなパフォーマンス「聞こえない音」

構成・演出・振付:砂連尾 理/伴戸千雅子/川崎 歩

■日時:2015年3月21日(土) 14:00/17:00

■会場:茨木市市民総合センター クリエイトセンター・多目的ホール

■料金:一般1,500円、小中学生500円

■共催:(公財)茨木市文化振興財団

言いよどんだ言葉、からだの中のもやんとしたもの、私とあなたの間の空気、太陽の光、植物の成長。聞こえないけれど、確かにそこに「ある」と感じる音たち。「聞こえない音」(text 荻野晴生)を手掛かりに、からだや声を使って、そんな音たちをつむいでいきます。

※「みんなのためのからだ学」

2010年に砂連尾理、伴戸千雅子など高槻在住のダンサーやデザイナー、ミュージシャンが集まってスタートしたワークショップ。日々の暮らしを根っこに、身の周りのことをからだで考えたり、表現や地域の文化環境などについて対話しながら、毎回ユニークな切り口で参加者と共に「からだ」と遊んでいる。今回は2014年「廣作あたま山」に続いて、参加者と共に作るパフォーマンス第二弾。

★会場

茨木市市民総合センター

クリエイトセンター・多目的ホール

※床はフローリングです。土足禁止のため上履が必要です。

更衣室はございます。

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726

